神戸電鉄　健康経営戦略マップ（2024年）

健康課題	健康投資	健康投資効果 健康投資施策の取組状況に関する指標	健康投資効果 従業員等の意識変容／行動変容に関する指標	健康関連の最終的な目標指標	健康経営で解決したい経営課題
生活習慣病リスクの低減 生活習慣病は発症すると本人の負担が大きく、仕事のパフォーマンスや医療費負担への影響も大きい	・特定保健指導の実施 ・健康増進アプリの活用 ・ウォーキングイベントの開催 ・女性の健康セミナーの開催	・特定保健指導実施者数 ・アプリの利用率 ・イベント参加率 ・セミナー参加率	●食習慣や運動習慣に対する意識の醸成 ・「BMI25以上」の従業員の割合目標「25%以下」 ・「運動をしていない」従業員の割合目標「50%以下」 ●女性の健康に関するヘルスリテラシーの向上	**●アブセンティーイズムの低減** （病気や体調不良などにより従業員が会社を欠勤している状態） ・休業率の低減 （2023年度0.65%→目標0.4%以下）	**・従業員の心身の健康づくり** **・従業員一人ひとりが健康で活き活きと働くことができる職場環境づくり**
メンタルヘルス不調等の発生予防と早期対応 ストレス系症状は業務のパフォーマンス低下との関連性も強い	・ストレスチェック回答率の向上策 ・メンタルヘルス研修の強化 ・社内相談窓口の充実	・ストレスチェック回答率 ・研修回数、内容理解度 ・相談窓口利用者数	●メンタルヘルス不調者の減少 ・高ストレス者の割合目標「10%未満」 ・ストレスチェックの回答率目標「90%以上」	**●プレゼンティーイズムの低減** （心身の健康上の問題が作用して従業員の生産性が低下している状態）	**継続的な企業価値向上** お客様に「安心」・「安全」・「快適」をお届けすることで豊かな暮らしを実現し地域社会に貢献していく
喫煙率低下 喫煙習慣は高血圧や脳・心血管疾病の発症リスクを高める	・社内禁煙時間設定 ・健保「卒煙プログラム」参加呼びかけ ・禁煙達成者の表彰 ・セミナーの開催	・各種取組への参加者数 ・セミナーの実施回数	●喫煙率の低下 ・従業員の喫煙率目標「15%以下」	**●ワークエンゲージメントの向上** （仕事に対するやりがいや貢献意欲） ・エンゲージメント調査（次回2025年予定）のスコア向上	
ワークモチベーションの向上 2022年に実施したエンゲージメント調査のスコアを一層高めていく	・新たな福利厚生制度の導入 ・快適な職場環境の整備 ・コミュニケーションの活性化 ・各職場でのエンゲージメント向上に向けた取組 ・長時間労働対策 （所定労働時間を超える長時間労働者に対しての面接指導・非番制度導入・ノー残業デー実施）	・福利厚生制度の利用率 ・長時間労働 ・有給消化率	●「職場環境に非常に満足している」のスコア ・平均労働時間、超過労働時間の減少		